

南幌町の子育て支援

～育てる喜び、育む幸せ。～



南幌町まちづくり課 地域振興係 主任
宮川 里沙 (みやかわ りさ)

平成29年 南幌町入庁。令和6年 現職

1. 南幌町はどんな町？

南幌町は、石狩平野のほぼ中心部に位置し、山ひとつなく平坦な町です。総面積81.36km²のうち、約7割が農地で、米を中心に小麦、大豆、てん菜などの土地利用型作物のほか、キャベツ、長ネギ、ブロッコリー、ピュアホワイト（糖度の高い白いとうもろこし）などを生産しています。



2. 人口の動向

昭和49（1974）年、札幌市周辺の自然豊かな地域に、農業、商業、工業、住居が共存する田園文化都市として、北海道住宅供給公社が「南幌ニュータウンみどり野」の



住宅団地

造成を開始しました。

南幌町は札幌市のベッドタウンとして宅地の分譲が進んだことで平成2年から人口が増加し、平成10年には1万人を超えるました。

その後は、宅地の販売が停滞し、令和4年1月1日で7,378人と人口減少が続きましたが、子育て世代の移住を促すための施策の効果が表れ、同年5月に前月対比で人口増加に転じ、今日まで人口増加の傾向が継続しています。

総務省が令和7年8月6日に公表した、住民基本台帳に基づく1月1日時点での人口動態調査において、日本人人口増加数は142人、人口増加率1.84%となり、3年連続で日本人人口増加数は北海道内の市町村で1位、増加率は全国の市町村で3年連続5位以内となりました。



子育て世代家族

3. 南幌町の子育て支援

南幌町では、「育てる喜び、育む幸せ。」をキャッチフレーズに次代を担う子どもたちが健やかに成長し、多くの保護者が子育てに喜びや生きがいを感じ、安心して子育てができるよう取組みを進めています。その中の主な取り組みを紹介します。



(1) 子育て世代住宅建築費助成事業

中学生以下の子どもがいる世帯または夫婦ともに40歳未満の世帯を対象に新築住宅の建築費を最大200万円助成しています。

さらに、助成対象者が先述の北海道住宅供給公社が分譲する「南幌ニュータウンみどり野」の宅地を購入する場合には、宅地価格を半額にするタイアップキャンペーンを行っています。また、独立行政法人住宅金融支援機構と相互協力に関する協定を締結しており、【フラット35】を利用する場合は借入利率の一定期間引き下げを受けられます。

(2) 子ども室内遊戯施設「はれっぱ」

子どもたちの笑顔を育む交流拠点を目指し、令和5年5月、南幌中央公園内に子ども室内遊戯施設「はれっぱ」をオープンしました。有料の遊戯エリア「きやべっちパーク」と無料の休憩エリア「MINA すまいるゾーン」の2つのエリアがあり、「きやべっちパーク」は町民100円、



はれっぱ外観



はれっぱ内

町外の方300円、付き添いの大人は無料で利用することができます。「MINA すまいるゾーン」にはドトールコーヒーショップが併設されていて、子育て世代だけではなく、多くの人々が利用しています。

(3) その他の取組

①南幌町子育て支援アプリ

母子健康手帳の記録、妊産婦や子どもの健康データ、予防接種データ等の管理や町が配信する情報のお知らせなどスマートフォン等に対応したアプリで確認できます。



子育て支援アプリ

②乳幼児防災備蓄品支援

1歳以下の子どもを対象に乳幼児用防災リュック（おやこ避難リュック）を配布し、災害時でも切れ目のない子育て支援を行っています。



リュック(中身)

③公設学習塾事業

小学4年生から中学3年生までを対象として民間学習塾による公設学習塾を実施しています。

④中学生国際留学プログラム事業

生きた英語力を身に着けるため、外国の現地学校で短期留学及びホームステイによる生活体験を行う海外派遣を実施しています。

⑤高等学校等通学費助成事業

高等学校等に通学する生徒の費用を一部補助しています。

⑥児童生徒等医療費助成事業

高校生等までの入院・通院に係る医療費の全額助成を行っています。

⑦子育て支援米支給事業

中学生以下の子どもがいる世帯に、子ども1人あたり10kgの南幌町産米「ゆめぴりか」を支給しています。

4. 誰もが笑顔で活躍できるまちづくり

南幌町は、子育て世帯を含む移住者が安心して暮らせる環境づくりに力を入れています。充実した子育て支援施策や穏やかで自然豊かな生活環境は、町での新しい暮らしを支える大きな魅力となっています。

さらに都市に隣接する恵まれた立地優位性と令和7年3月道央圏連絡道路南幌ランプの開通による新たな交通道路網の拡充により、北海道住宅供給公社及び町所有地約29haを南幌流通団地として令和6年度から整備を進めており、令和8年秋の供用開始を予定しています。

地域特性と町民や地域の力をまちの元気を支える資源として活用し、持続的に発展するまちづくりを進めることで、「南幌町に行ってみたい」「南幌町に住んでみたい」「住み続けたい」と思える誰もが笑顔で活躍できるまちを目指していきます。